

# 実践的な避難訓練の計画立案



機能訓練（職員だけでの訓練、特に管理職の指示）

保護者が評価

改善・修正

## 実際の避難訓練の実施

# 兵庫県立大学大学院の協力を得て、 作成された減災マニュアル

兵庫県立尼崎小田高等学校 減災マニュアル（初動対応 地震・津波編）

業務	まとめり仕事	仕事の流れ	備考
総括本部を職員室で立ち上げる	1-1-1	授業のない先生は、教頭席に集合する。	指示を出す者：校長、教頭、事務長、主幹教諭 教室等にいる教員は、周囲の教室等の状況と安全を確認しながら、教頭席に集合、報告する。
	1-1-2	役割分担（情報収集、通報発信班、避難誘導班）を決める	教官室から集合した教員に状況を聞く。
	1-1-3	避難誘導班に校舎の被害状況確認の指示を出す。	トランシーバー 1-1-2の報告以外の箇所への確認を指示
	1-1-4	情報収集・通報発信班から情報を集め、状況を確認する。	情報収集班からの報告
	1-1-5	重要書類を持ち出す。	名簿・連絡先
被害状況を確認する	1-2-1	校舎の被害状況を把握する。	避難誘導班からの報告
	1-2-2		
	1-2-3		
全体総括班 避難方法を指示する	1-3-1	校内放送で避難方法を指示する。	指示後、総括班も集合場所へ避難する
	1-3-2		
	1-3-3		
全体の状況の整理	1-4-1	集合場所にて全体指揮を行う。	
	1-4-2	各班からの情報を整理する。	様式①に記録する
	1-4-3		
けが人の把握をする	1-5-1	点呼時、怪我人等を含めた状況を把握する。	名簿に記録
	1-5-2	安全な場所への移動指示を出す。	校内放送もしくは拡声器
	1-5-3	重症者を把握し、情報発信班に救急要請依頼を行う。	情報発信班に依頼
帰宅準備を指示する	1-6-1	生徒に自分の貴重品等を取りに戻らせる。	各担任を本部に集め、伝える。担任から生徒へ伝える。
	1-6-2		
	1-6-3		

- ＜大まかな流れ＞
- ①授業のない先生は、教頭席に集合
  - ②役割分担
  - ③校舎内の被害状況を把握
  - ④校内放送で、避難方法を指示
  - ⑤生徒を避難誘導
  - ⑥集合場所で、情報収集・人員確認やけが人等を把握
  - ⑦その後の対応

保護者による評価